

台風が来た、さあどうしよう……では遅い！

命を守るためマイタイムラインの作成を

洪水・内水ハザードマップは想定し得る最大規模の降雨による洪水および内水(雨水がマンホールや側溝等から溢れること)の浸水想定区域を掲載しています。対象の河川や想定降雨の規模等が以前から変更され

マイタイムラインとは？

風水害に備えて自分や家族の行動をあらかじめ考えておく避難行動計画のことで、同ハザードマップ(左図)に掲載されています。災害時に適切な行動を取るためには**事前の準備が何よりも大切です**。家族で話し合い書き込んでみましょう。



でみましょう。同マップは市ホームページからも見られます。

どうやって作るの？

まずは自宅周辺の被害予測を同ハザードマップで確認しましょう。気象庁や市役所からの情報の入手方法、避難するタイミングなど、家族の避難行動を時系列に合わせて考えます。

実際に作ってみよう！

ある一家の場合……



構成例：お父さん、お母さん、お姉ちゃん、弟、おばあちゃん

これは構成例をもとにした、ほんの1例です。それぞれの家庭で役割分担を決めて行動しましょう

警戒レベル	市が発令する避難情報	準備や作業にかかる時間も想像してみましょう。
1		<p>警戒レベル1 ~日頃の準備~ 千里の道も一歩から、できることから始めましょう</p> <p>自宅は安全ですか？避難先の候補は複数考えましょう。市や地域の防災訓練等に参加しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふなばし情報メール、アプリ「ふなっす」に登録(みんな登録完了^^) ・家族間の連絡は携帯電話で!! ・備蓄は家族みんなの7日分を目標、非常持ち出し品もリュックに入れておく ・避難先の候補は <ul style="list-style-type: none"> ①中央公民館(徒歩10分) ②船橋小学校(徒歩15分) ③鎌ヶ谷市の実家(車で40分)
2		<p>警戒レベル2 ~早期早めの情報収集~ デマ情報にはご注意ください</p> <p>情報収集手段はありますか？市のメールサービスやアプリも活用しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんはテレビやインターネットで気象情報などを確認 ・お父さんは風で飛ばされそうなものを室内に移動させる ・姉弟で非常持ち出し品が入ったリュックの中身に不足がないか確認し玄関に持ってくる
3	高齢者等避難	<p>警戒レベル3 ~避難の判断時期~ 大丈夫だろうを疑いましょう</p> <p>早めの避難が必要な方はいませんか？開設されている避難所を必ず確認しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんはホームページで開いている避難所を確認 ・防災行政無線の放送を確認する(※) ・おばあちゃんと子どもたちは早めに避難(付き添いはお母さん) ・お父さんとお母さんは連絡をこまめに取合う!(1時間に1回)
4	避難指示	<p>警戒レベル4 ~危険な場所から全員避難~ 外が危険なら上階へ</p> <p>必要なものは忘れていませんか？家族全員が避難行動をとりましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんはお母さんと連絡を取ってから避難する
5	緊急安全確保	<p>警戒レベル5 ~命を最優先に~ 落ち着いた判断で命を守る</p> <p>命を守る行動を。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もしも逃げ遅れてしまったら自宅の2階に移動する

ポイント①

- ・ハザードマップで被害予測を確認する
- ・アレルギー対応の食品や常備薬など家族に必要な備蓄品を準備する

ポイント②

- ・情報収集手段は複数確保する
- ・家族の役割を早めに確認しておく

ポイント③

- ・避難する際には、地域の人と声を掛け合うことも大切
- ・荷物は必要最小限

ポイント④

- ・避難の前に屋外の状況をしっかり確認する

ポイント⑤

- ・住まいや地域の状況によっては自宅避難も有効

ていて、浸水想定区域は広がっています。自宅の浸水被害想定を確認してマイタイムラインを作り、台風や集中豪雨が来ても落ち着いた行動が取れるよう準備しておきましょう。

関危機管理課 ☎436・2037

(※) 放送内容は市ホームページまたは ☎0120-2784-61 で確認できます